



輝け！北っ子！

V S 活動スタート！！（ところで V S 活動って何？） ～青少年赤十字研究推進指定校～



本校は、令和2年度から4年度まで日本赤十字社福島県支部から研究推進校に指定されています。赤十字の態度目標「気づき、考え、実行する」及び実践目標「健康・安全、奉仕、国際理解・親善」を受けて、学校の教育活動全体の中で子どもたちに赤十字のベースとなる資質・能力育んでいきたいと思っています。



本来であれば、年度当初から赤十字研究推進校としての活動をスタートする予定でしたが、コロナ禍ということもあり、なかなか予定していた活動ができずにいました。外部人材の協力を得る…？ 子ども同士が交流しながら活動する…？ 制約がどうしても多くなってしまいます。

その中でも、13日2年生が「V S 活動」をスタートさせました。V S 活動とは、V（ボランティア）S（サービス）活動のことで、「他のために今の自分にできることはないかを考え、自分ができることを進んで行う活動」のことを言います。2年生は、それぞれの学級で話し合い「草むしり」をすることに決めた言うことでした。今、北小のみんながしてほしいことは…？ コロナ禍で、感染防止をしながらできることは…？ 自分たちの力でできることは…？ いろいろな要素を考え

ながら活動を決めたということでした。当日は、手袋をして、スコップを学校から借りて、鉄棒前の草むしりをスタート。なかなか固い土に苦労しながらも子どもたちは熱心に取り組んでいました。「もっとやりたい」「きれいになってすっきり」子どもたちから前向きな感想がたくさん聞かれました。V S 活動は木曜日の学級清掃の時間に一応位置付けています。コロナの感染状況をみながら今後、少しずつ他の学年にも広がっていくものと期待しています。

ちょっといい話 ～あいさつのすばらしさ～

先日、若宮に住むMさんから学校にわざわざお電話をいただきました。話を聞くと、「子どもたちのあいさつがとってもすばらしい。感動した。是非、この気持ちを子どもたちに伝え、誉めてあげてほしい。」というものでした。子どもたちがほめられるのは学校にとって何よりもうれしい出来事です。ありがとうございました。

該当する子どもたちに聞いてみると、下校の時にいつもすれ違う地域の方で、元気よくあいさつをしていたということでした。そのうちに、あいさつだけでなく声を掛けてくださるようになったとのことでした。



コロナ禍の今、感染のリスクを考えると、大きな声でのあいさつはちょっと控えなくてはならないという難しい状況にあります。そんなこともあり、ちょっと学校休業明け、子どもたちのあいさつに活気がないようにも感じています。しかし、別な考え方をすれば、大きな声を出さなくとも、心のこもったあいさつはどうすれば考えるいいチャンスになっているのかも知れません。

是非、ご家族の子どもたちはもちろん、北小の子どもたちに声かけをお願いします。あいさつをしてみてください。実体験を通して、子どもたちはいろいろなことを考え、学んでいきます。そして、地域全体にあいさつの輪が広がっていくことを期待しています。

保護者の皆様からの声をお待ちしています。

～学校に対するご意見・ご感想等お気軽にお寄せください（または assist.nihonmatsukita-e@fcs.ed.jp まで）

----- 切 り 取 り 線 -----